

# リスニングドリル 基本マニュアル

ミントアプリケーションズ株式会社

2016年8月

映画のシーンを使って会話の聞き取りや練習を行うドリル。

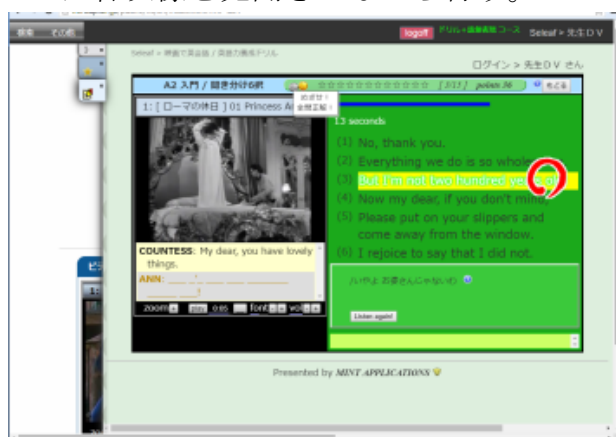
ドリルは大きく分けて鑑賞スピーキング系とリスニング系に別れる。



色が緑の部分が鑑賞スピーキング系で、黄色がリスニング系



リスニングドリルでは音映像を見聞きしながら行う。



アクセスするブラウザは Google Chrome を推奨する。それ以外のブラウザの場合、一部の機能で動作不全となる場合がある。

Edge, IE, Firefox, Safari などの動作はバージョンなどの環境依存が高いため、実際に試してみるしかない。

動画を多用するので、ネット回線の容量と速度が足りない場合には動作不全となる場合がある。

\* 図例はすべて Google Chrome による。


\* リスニングドリル・コースを利用するにはライセンスによるログインが要求される。

## 目次


1	Seleaf Drill をひらく	… 3
2	利用する作品とチャプターを選ぶ	… 4
3	利用するドリルの種類を選ぶ	… 4
4	鑑賞	… 5
5	シャドーイング	… 7
6	キャスティング	… 8
7	リスニング / 聞き分け	… 10
8	リスニング / 聞き取り 語順整序	… 12
9	リスニング / 書き取り 先頭だけ 1 文字	… 13

# Seleaf Drill をひらく

\* Drill の利用にはログインが必要

- 1 ビッグアイコン D  をクリック.



- 2 「会員として入る」  を選ぶ.

\* 試用の場合には「ゲストとして入る」

 を選ぶ



## 利用する作品とチャプターを選ぶ

### 1 利用する映画を選ぶ.

\* 利用できる映画が1本だけの時は、映画の選択はない.

### 2 利用するチャプターを選ぶ.

\* 1チャプターは概ね10±2分程度.

\* 利用が進むに連れてチャプターごとの履歴が追加されていく.




## 利用するドリルの種類を選ぶ

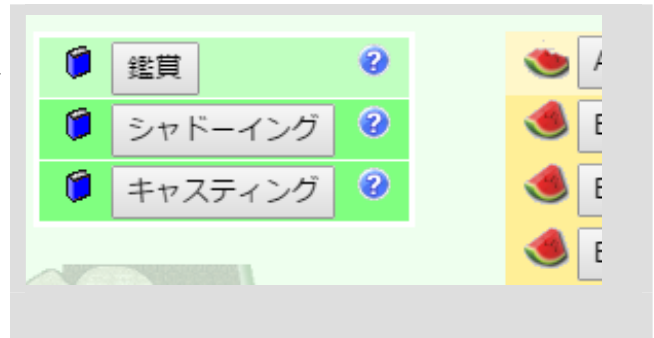
### 1 利用するドリルを選ぶ.

\* ドリルは、地が緑の鑑賞スピーキング系（左）と、黄色のリスニング系に分かれている.

\* 利用が進むに連れてドリルごとの履歴が追加されていく.



- 2 各ドリルの特徴と操作方法は、ドリルボタンの右についている案内ボタン  をクリックするとアニメで説明される。




## 鑑賞

映画の筋を知っておくことは、学習を円滑に進めるため必須である。

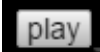
- 1 鑑賞を選ぶ。




- 2 再生画面が開いたら「play」ボタン  で鑑賞を始める。



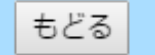
### 3 主な再生操作

通して再生：

1 回再生：字幕をクリック

再生速度調整：

字幕言語切替：


動画再生窓を閉じる：右上の閉じるボタン  をクリック。

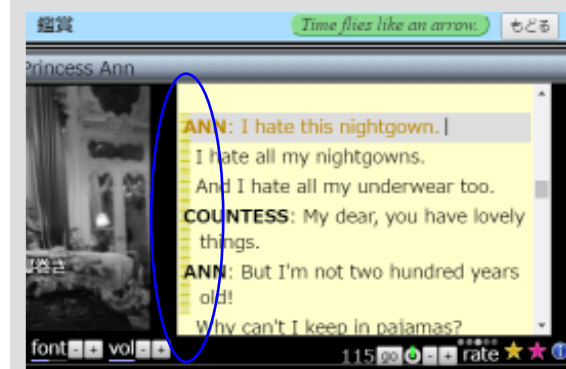
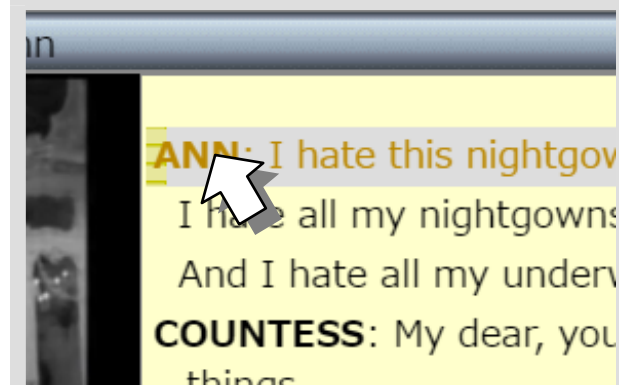
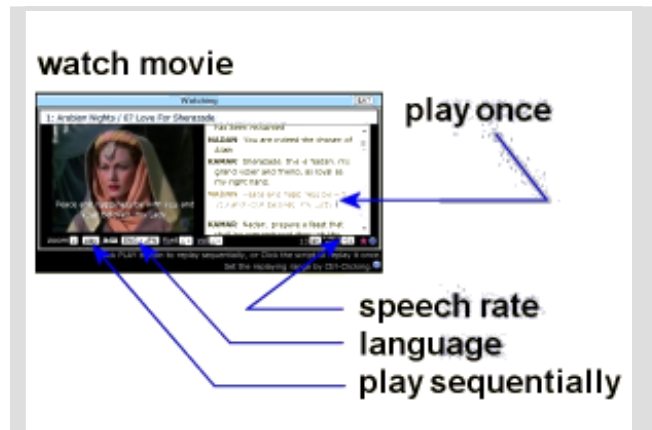
### 4 スキット（再生範囲）の設定

設定 1：Ctrl キーを押しながら、スキットの先頭字幕の配役名をマウスで左クリック。

設定 2：Ctrl キーを押しながら、スキットの末尾字幕の配役名をマウスで左クリック。

解除：Ctrl キーを押しながら、スキット先頭あるいは末尾の字幕の配役名をマウスで左クリック。

スキット再生：play ボタン  をクリック。



# シャドーイング

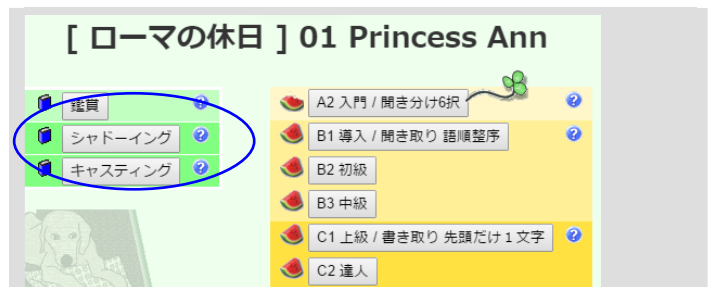
\* 字幕のワンフレーズごとにシャドーイングする

上級者向けの訓練法であるシャドーイングを初級者向けにするためのツール.

字幕をポイントすると、文字が消えて音声が出る point-to-banish method を採用.

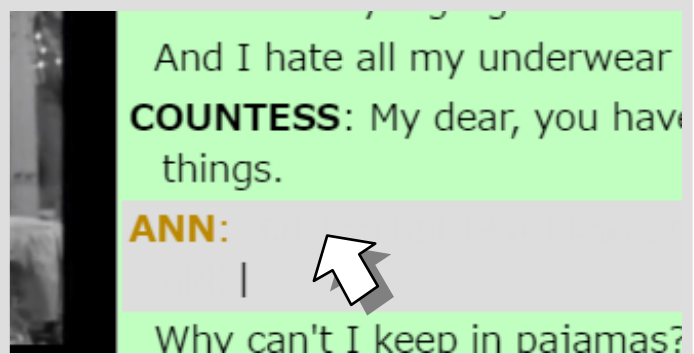
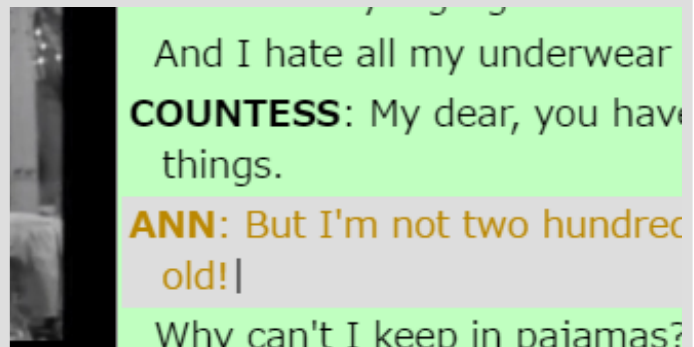
ルックアップと同様の効果が期待できる.

## 1 シャドーイングを選ぶ.

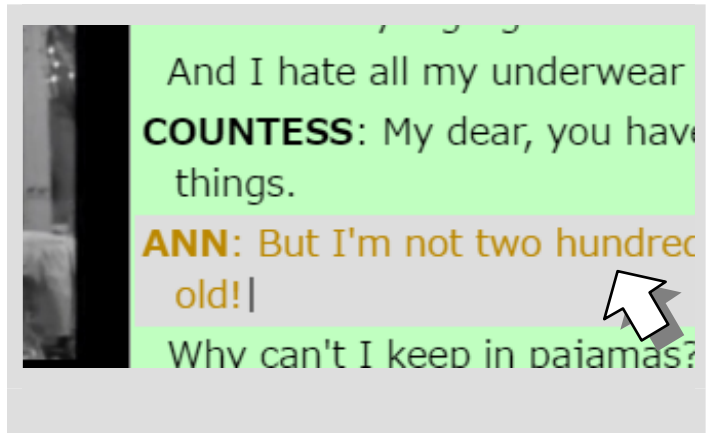


## 2 目的の字幕の文字をマウスでポイントすると、文字が消えて、音映像が流れるので、それに合わせて声を出す.

同じフレーズを続けて練習するときは、マウスを移動させないで、左クリックする.



- 3 音声を文字で確認したいときには、マウスを右下方向にずらして、文字がなかったところまで移動させる。

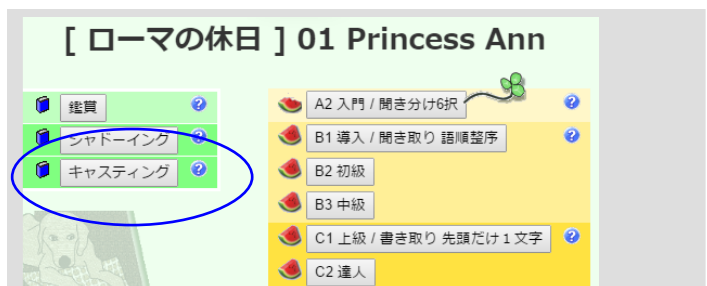


## キャスティング

なり切り英会話のためのツール。

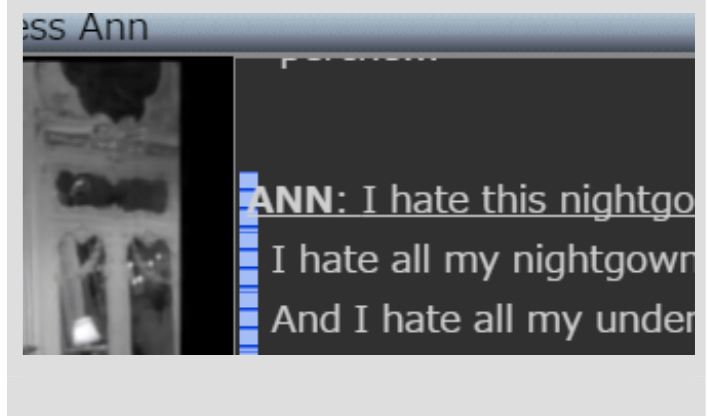
ペアレッスンやグループ学習に向いている。

- 1 キャスティングを選ぶ。



- 2 最初に、スキットを設定する。

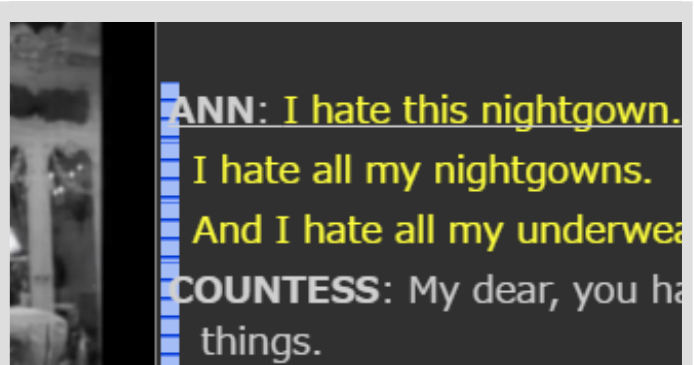
\* 話者が2人の部分を選ぶとよい。





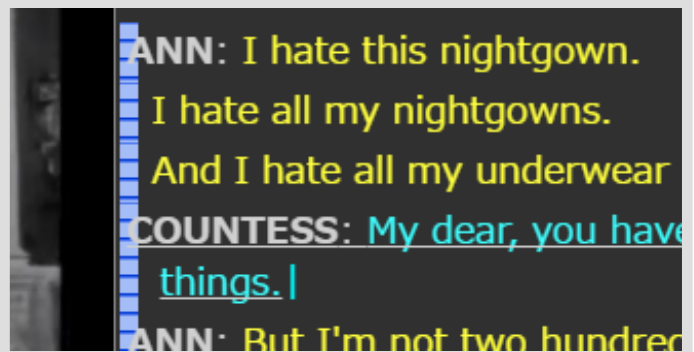
- 3 役者名の文字部分 **ANN:** をマウスで左クリックする。

クリックした役者の字幕に色がつく。



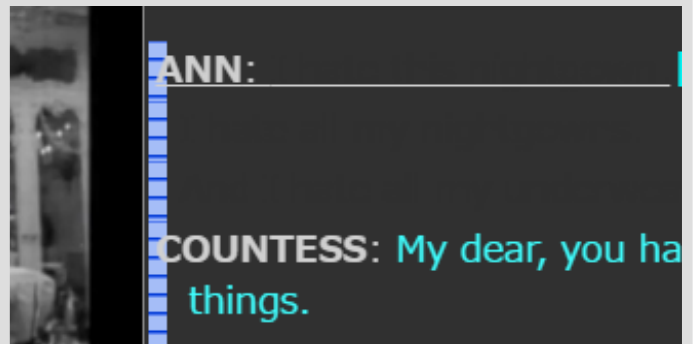
- 4 次の役者の文字部分をマウスで左クリックする。

クリックした役者の字幕に別の色がつく。



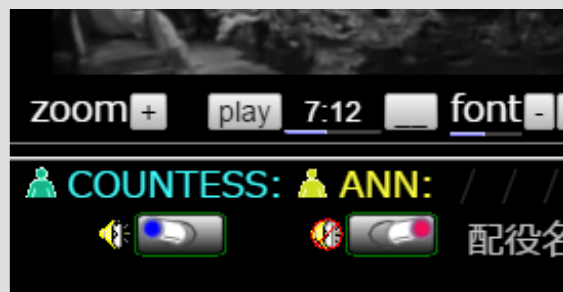
- 5 役者の文字を隠すには、役者の文字部分 **ANN:** をマウスで左クリックする。

この操作を繰り返すと、文字の表示/非表示と彩色が順に変化する。



- 6 役者の音声を消すには、動画の下にある役者名 **ANN:** をクリックする。

再びクリックすると音声が出るようになる。



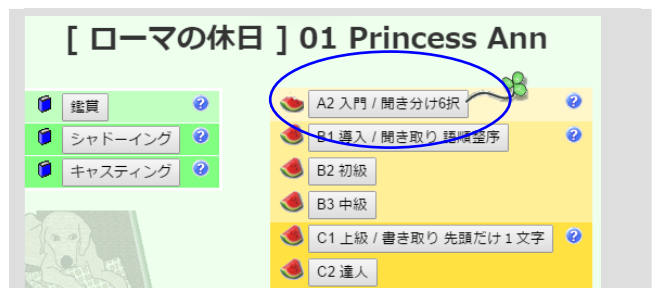
# リスニング / 聞き分け

筋書きの順に出題される。

強制のある聞き取りやすい単語だけが聞き取れても正解に導ける。

英語を習い始めた中学生でも正解できるので、英語音声への親密度アップが望まれる。

- 1 A2 入門 / 聞き分け 6 択を選ぶ。



- 2 画像が現れるのを待つ。

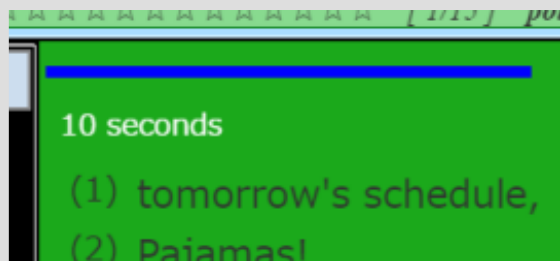
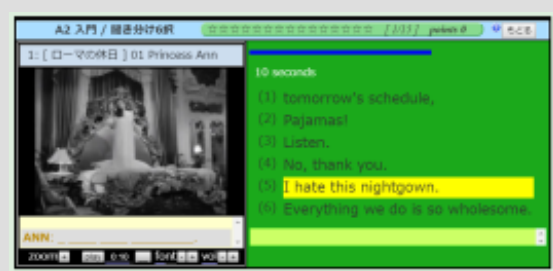


- 3 START ボタン **START** をクリックして始める。

- 4 数秒間の前段再生のあと、課題部分が複数回再生されるので、聞こえた音声にもっともふさわしい文字列をマウスで左クリックする。

反復回数は通常 5~7 回。

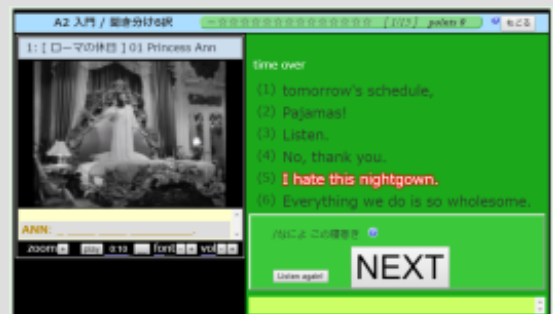
無回答でも制限時間が来ると終了となる。制限時間は選択肢の上のタイムバーで表示される。



- 5 ひとつの課題が終わると、NEXT ボタン

**NEXT**

が現れるので、これをクリックして次の課題に移る。



- 6 再び START ボタン **START** が現れるので、START > 回答 > NEXT > START > 回答・・・を繰り返す。

- 7 途中で終了するには右上のもどるボタン

**もどる**

をクリックする。

\* 途中で閉じると、ここまでの履歴は破棄され、次から再び最初からとなる。

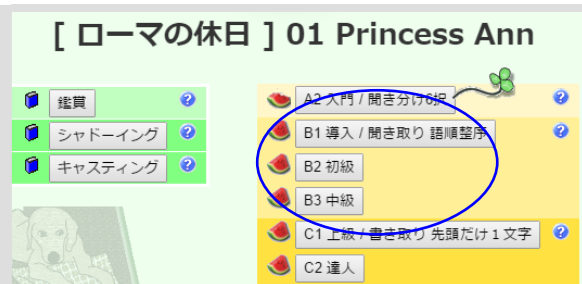
## リスニング / 聞き取り 語順整序

聞こえた順に単語をクリックするゲーム感覚のドリル。

連続音声の分節化に慣れていない場合や、英語のコロケーション（習慣的言い回し）を強化したい場合の学習に向いている。

\* 前段の「リスニング / 聞き分け」と重複する部分は省いた。

- 1 B1 導入 / 聞き取り 語順整序、あるいは B2 初級、B3 中級を選ぶ。



- 2 画像が現れるのを待つ。



- 3 START ボタン **START** をクリックして始める。

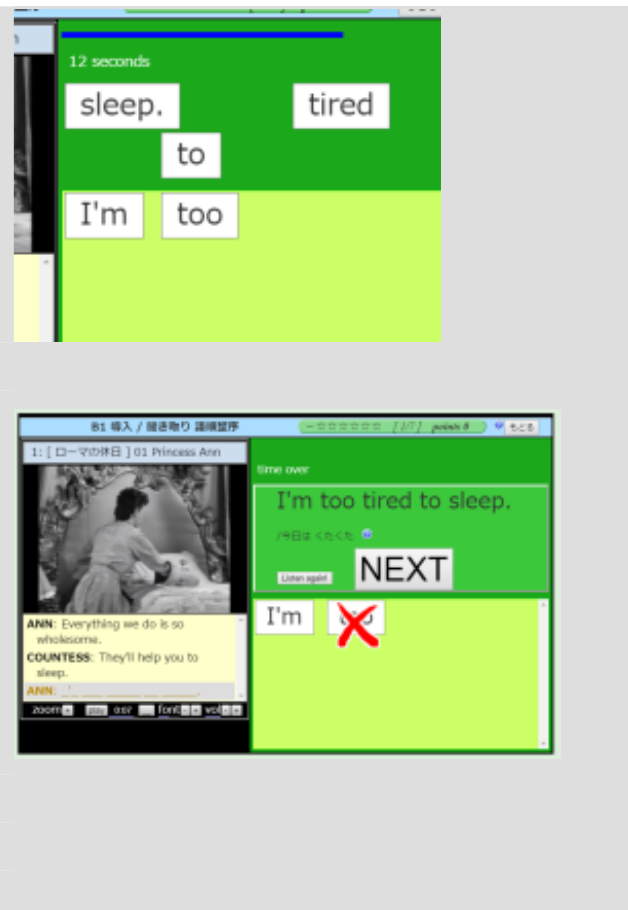
- 4 数秒間の前段再生のあと、課題部分が複数回再生されるので、聞こえた音声の順に単語カードをマウスで左クリックする。

反復回数は通常 5~7 回。

- 5 ひとつの課題が終わると、NEXT ボタン

**NEXT**

が現れるので、これをクリックして次の課題に移る。



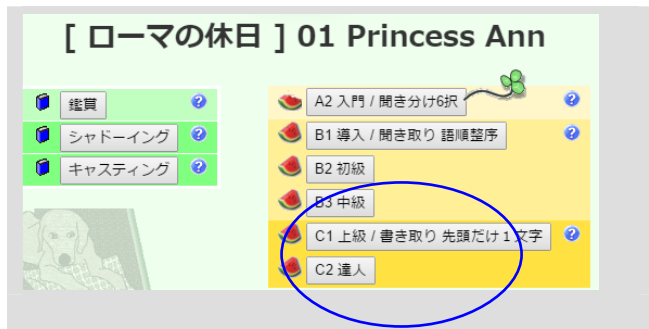
以下「リスニング / 聞き分け」と同様

## リスニング / 書き取り 先頭だけ 1 文字

聞き取った音声を文字に直す訓練。

正式なディクテーションでは、難易度が高すぎ、かつ、タイピングの力も要求されて困難度が増すので、ここでは、単語の先頭 1 文字（アルファベット）だけを打ち込んでゆく first-letter method を採用した。

- 1 C1 上級 / 書き取り 先頭だけ 1 文字、あるいは C2 達人を選ぶ。



- 2 画像が現れるのを待つ。



- 3 START ボタン **START** をクリックして始める。

- 4 数秒間の前段再生のあと、課題部分が複数回再生されるので、聞こえた音声の順にキーボードからアルファベットを入力する。

反復回数は通常 5~7 回。

まちがった文字は受け付けない。

以下「リスニング / 聞き分け」と同様

